

上尾市ゼロカーボンシティ宣言

近年、温室効果ガスの増加による地球温暖化の影響に伴い、猛暑や豪雨災害など様々な気候変動問題が起きており、今後さらに災害等のリスクが高まると予測されています。

国際社会では、2015年に採択されたパリ協定において、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求すること」とされ、また、2018年に公表された IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

我が国においても、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」が宣言され、地球規模の大きな問題にも地方自治体レベルで貢献していくことが求められています。

上尾市は、「第6次上尾市総合計画」の中でまちづくりの理念の一つとして掲げている「持続可能な未来への責任」を果たし、次世代に豊かな自然環境を引き継ぎ、安心・安全な暮らしを残していくため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和3年7月17日

上尾市長

島山 稔